

財団法人國學院大學院友会 平成22年度 事業報告

◇ 実施内容 ◇

◇ 本会の運営

■ 「理事会」、「評議員会」の開催

→ 新公益法人制度での本会の方向性について検討・議論を重ね、「一般財団法人」へ移行を決定。

◎ 第1回理事会 平成22年 5月17日 第2回理事会 平成22年12月20日
第3回理事会 平成23年 3月 28日

◎ 第1回評議員会 平成22年5月17日 第2回評議員会 平成23年3月28日

■ 「顧問・参与会」の開催

◎ 平成22年6月 7日(月)11:30から開催。第14回。

→ 顧問 0名、参与 3名参加。

→ 諸事業へのアドバイス、要望、お気づきのことなどを伺った。

■ 記念事業実施委員会

→ 夫々の記念事業の具体的な進め方や内容などを検討、立案、実施してきたが、この事業の終了に伴い、22年度は残っていた本会記念誌について、事業等最終処理について検討を行った。

◎ 第18回 発足120周年記念実施委員会 23. 3. 7 開催

※18年度に理事会に発足した記念事業実施委員会。これを以て最終とした

■ 公益法人制度改革対応検討委員会

■ 公益法人制度改革に伴うこれからの本会の対応について検討すべく、理事会内に平成20年度に設置。本会の今までの歴史や組織上のことも踏まえながら、さまざまな方向から理事会への提案等検討を行った。「一般財団法人」への移行について、文科省の指導や全国各支部アンケート結果もふまえて提案へ。

◎ 第 6回 公益法人制度改革対応検討委員会 22. 9. 9 開催

第 7回 公益法人制度改革対応検討委員会 22. 10. 15 開催

第 8回 公益法人制度改革対応検討委員会 22. 11. 26 開催

第 9回 公益法人制度改革対応検討委員会 22. 12. 17 開催

第10回 公益法人制度改革対応検討委員会 23. 2. 23 開催

■ 「会費・資金及び会館事業収入等増進促進委員会」について

■ 今後の会費や学術スポーツ振興資金、また会館事業収入の増加に向けて6名の理事からなる委員会を設置。この委員会へは事務局が中心でいろいろな提案をするようにとの意見もあり、広く院友の意見を伺う会を設けた。

→「いろいろなお話を伺う会」として、院友で他の同窓会関係、銀行、カード関係、マスコミ、集客に関する方々等をお願いして、本会の状況を聞いてもらいながら話を伺った。「おもしろいホームページ」「おもしろい院友会報」「おもしろい院友会」について話し合った。

→第一回23年1月29日、10名参加。 第二回2月19日、11名参加。

第三回3月12日予定が、東日本大震災により延期。

■ 基金の拡大

◆ → 目標 300,000,000円 平成11年度から目標を設定。

◎ 基金現在高 137,099,780円 / 22年度積立金 1,655,437円

◇ 発足百二十周年記念事業

■ 記念事業

◆ 実施期間 平成18年度～平成22年3月31日まで。(4カ年)

◆ 《院友会の記録・歴史の整理刊行》

→ 「発足120周年記念DVD」と「國學院大學院友会百二十年史」が漸く完成。120年余にわたる歴史が取りまとめられた。これを以って、全ての事業が完遂した。

※ DVD … 8,900枚 作製

・製作会社 株式会社エイアンドジー

・作製費用 3,245,316円(税込) @364.64円

※ 「國學院大學院友会百二十年史」 … 4,300部 作製

・製作会社 株式会社 ディグ

収支計算書 科目

* 積立資産明細表参照

* 発足百二十周年記念事業特別会計

事業費支出=補助費支出

■ 記念募金事業

(I) 学術、文芸の振興と交流及び奨学

■ 「学術・スポーツ振興資金」による学生の支援

■ 「院友学術振興会」支部の支援を通して学術の振興に寄与

■ 全国高校生対象の文化事業

■ 奨学事業

・上製本(函入り) 1,000部 / 並製本 3,300部

・作製費用 2,554,860円 @1,082円(上製本)/446円(並製本)

◆ →「発足120周年記念事業特別会計」を平成23年3月31日をもって終結し、収支残高については、23年度に「会館施設等充実準備金」として会館事業特別会計へ繰り入れを実施した。

※「会館施設等充実準備金」 → 11,309,647円 (23. 3. 31)

◆ 硬式野球部、陸上競技部(長距離部門)、柔道部を対象団体として継続。各500,000円を支援 (平成8年度に制度発足、支援を継続している)

◆ 「学術」…母校所蔵の貴重資料デジタル化を継続して100,000円を支援

→ 母校図書館ホームページの貴重資料も、見やすいようにリニューアルされ、解説も準備中。

・前年度繰越金 4,016,033円

・22年度積立金 3,013,158円

・積立金利息 2,397円

・22年度支援金 1,600,000円 (学術部門・スポーツ3団体)

合 計 5,429,191円

※ 資金状況を鑑み、減額して支給した。

◆ 本会支部であり、母校で学位を得た方々の会である「院友学術振興会」の事業に対し今年度も支援した。 → 年額 100,000円を特別支援

◆ 院友学術振興会公開講座 『國學院の古典』(第14回):本会共催

→ 定員120名 一日1,000円の講座

→ 渋谷区・渋谷区教育委員会・國學院大學が今年度も後援。

◎ 平成23年

1月12日(水)① 中国文学 松田 稔氏 ② 万葉集 城崎陽子氏

13日(木)① 源氏物語 岩下裕一氏 ② 源氏物語 針本正行氏

14日(金)① 風土記 谷口雅博氏 ② 万葉集 菅野雅雄氏

15日(土)① 古事記 小林真美氏 ② 源氏物語 林田孝和氏

※ ①=13:00~14:30 ②=14:50~16:20

※ → 申込 のべ 818名 / 申込実数 209名 / 受講生 のべ 666名

→ (21年度参考) 申込のべ733名 / 申込実数194名 / 受講生のべ612名

※ (19年度11月実施・参考) 申込のべ438名 / 申込実数144名 / 受講生 のべ394名

◆ 「全国高校生創作コンテスト」に協力支援。

→ 國學院大學、高校生新聞社共催 / 本会、若木育成会協賛 / 文部科学省後援

→ 第1回から支援 22年度は第14回 / 年額 100,000円を支援した。

◆ 「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストへの協力支援…22年度は第6回

→ 國學院大學、高校生新聞社 共催

本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部 協賛

農林水産省、全国高等学校校長協会 後援

→ 総額 100,000円 を支援。

◆ 「司法試験奨学金」での支援

「司法試験奨学金」…「短答式試験」合格者に 100,000円を支給。返済不要。

↓
<p>* 経常会計</p> <p><small>学術スポーツ振興・奨学奨励事業費支出</small></p> <p><small>=学術スポーツ振興資金支出</small></p>
↓
<p>* 経常会計</p> <p><small>支部活動支援事業費支出</small></p> <p><small>↓ =補助費支出</small></p>
↓
<p>* 経常会計</p> <p><small>学術スポーツ振興・奨学奨励事業費支出</small></p> <p><small>↓ =奨学奨励費支出</small></p>
↓
<p>* 経常会計</p> <p><small>学術スポーツ振興・奨学奨励事業費支出</small></p> <p><small>=奨学奨励費支出</small></p>
↓
<p><small>学術スポーツ振興・奨学奨励事業費支出</small></p> <p><small>=奨学奨励費支出</small></p>

■ 奨励事業

<p>→ 本年度は2名が短答式に合格。申請支給とした。※平成12年度から実施。</p>	<p>↓</p>
<p>※第3回理事会において、23年度からは司法試験制度が変わることに伴い、規程を改正。今後は支給額減額(一人50,000円)にて支援継続を決定。</p>	
<p>◆ 教職を目指す学生の支援</p> <p>→ 「学習指導要領」を小・中・高それぞれ教員を志す学生に贈呈した。</p> <p>→ 高校200冊、中学100冊、小学校200冊。「教職を目指すみなさんへ」のメッセージを添えて、キャリアサポート課(就職課)の協力を得て贈呈。 ※平成17年度から実施事業。</p> <p>→ 支援合計 192,000円(税込)</p>	<p>学術スポーツ振興・奨励事業費支出 =奨学奨励費支出</p> <p>↓</p>
<p>◆ 「院友会長賞」での学生・院友の活躍支援</p> <p>▼学生の部 → 寺田夏生(てらだ・なつき/健康体育学科1年)氏</p> <p>→ 新春第87回箱根駅伝10区担当。ゴール直前のアクシデントが国内外を沸かせた。見事第10位で飛び込み、母校初のシード権獲得に貢献。</p> <p>▼院友の部 → 平林 岳氏(ひらばやし・たけし/97法2)</p> <p>→ アメリカプロ野球審判員。日本人初のメジャーリーグ審判員まであと一歩。努力を称え、後押しをしたい。</p> <p>※平成23年5月の院友大会席上で贈呈。</p>	<p>学術スポーツ振興・奨励事業費支出 =奨学奨励費支出</p> <p>↓</p>
<p>◆ 新院友への記念品/「第118期生」へ 21年度の新院友に、年度改まって送付。</p> <p>→ 母校、若木育成会、本会の三者で、在学4年間の「学報縮刷版」を、卒業の記念品として作製配付することに協賛。費用負担と配付は21年度。</p>	<p>* 経常会計 会員統括組織化事業費支出 ↓ = 渉外費支出</p>
<p>◆ 硬式野球部、柔道部、陸上競技部の特別支援</p> <p>→ 本年度は支援3部会がそろって結果を出したので、500,000円ずつ支援した。今年度に限った祝意金として贈呈。</p>	<p>* 経常会計 学術スポーツ振興・奨励事業費支出 ↓ = 奨学奨励費支出</p>
<p>◆ 競技場、試合場、応援席に掲げる旗や幟、横断幕などを貸し出した。</p> <p>支部総会・講演会への貸出も実施。「がんばれ國學院」「國學院大學」「一支部一事業」の際も貸出。</p>	
<p>◆ 学生の活動・活躍や文化、社会活動に対し、母校と共に必要に応じた応援を行った。</p> <p>→ 陸上競技部の箱根駅伝出場への応援など。</p> <p>「駅伝応援の会」への協力。</p> <p>→ 駅伝応援の会へ応援資金として300,000円を支援。</p>	
<p>◆ 絶対必要！ 新社会人実践マナー教室 (母校学生支援)</p> <p>・村上侑美枝氏(正会員・マナーコンサルタント・母校北海道短期大学部客員教授)</p> <p>→23.1.12(水)、19(水)/両日ともに ①12:50~14:20 ②14:30~16:00</p> <p>→申込 12日:31名、19日:34名 参加 12日:21名、19日:25名</p>	
<p>※ 母校の学生支援講座。諸経費は本会が負担。</p> <p>・講師謝礼 88,888円 (交通費込み)</p>	
<p>◆ 文化活動等の支援</p> <p>・茶道教室の援助(表千家、遠州流)</p> <p>・「院友ゴルフクラブ」の活動を援助。</p> <p>→ 第52回コンペ/22年9月 4日(土) 武蔵丘ゴルフコース/10組 38名参加。</p> <p>第53回コンペ/23年3月 16日(水) 東京よみうりカントリークラブ ※中止</p>	<p>* 経常会計 会員統括組織化事業費支出 =奨学奨励費支出</p>

(Ⅱ) 講演会、講習会、研究会等の開催

■ 公益的活動・事業を展開

※10組40名の参加予定であったが、3月11日の東日本大震災により中止とした。

◆ 近隣町会主催の公共的な催しに協力

→ 近隣氷川地区町会などが主催の、子供たちのイベントである大相撲力士との相撲大会、ちゃんこ鍋などの催しに例年協力(力士の会館利用など)。

◆ 『古事記全講研究会(第18期)』…中村啓信氏 國學院大學名誉教授

→ 全10回/定員50名/受講料15,750円

(割引/前回受講者・Mカード 14,175円)

受講者数 46名

→ 5/19, 6/9, 7/7, 9/9, 10/13, 11/10, 12/13, 23.1/19, 2/9, 3/9

→ 14:30~16:00 水曜日/院友会館

[収入] … 663,075円

[支出] … 252,772円

(講師謝礼 222,222円、チラシ代・受講票通信費・ビデオテープ代など 21,290円)

※ DM送付除く

◆ 『源氏物語講座 第4期』…針本正行氏 國學院大學教授

・「松風・薄雲」巻を読む 10回開催

→ 全10回/定員60名/受講料10,500円

受講者数 22名

→ 13:30 ~ 15:00 月曜日/院友会館

→ 4/19, 5/10, 6/14, 7/12, 8/9, 10/4, 11/8, 12/13, 23. 1/17, 3/7

[収入] … 319,725円

[支出] … 258,122円

(講師謝礼 222,222円、チラシ代・受講票通信費・ビデオテープ代他 19,850円)

◆ 『生活芸術講座』 … 儀礼文化学会 主催/本会 共催

→ “生活芸術”とは…わが国の「儀礼文化」の中で、生活を基盤とし、伝統的特色を有する分野がある。これを「生活芸術」と称する。生活文化の中でその文化性を芸術的に昇華し、発展させた分野である。その分野には「礼法」「茶道」「華道」「香道」「料理」などがある。(儀礼文化学会)

・9月11日(土)…「茶道」:『茶道における形と心』 遠州流茶道宗家 小堀宗実

・9月18日(土)…「香道」:『月見の香を聞く』 香道志野流家元 蜂谷宗玄

・10月2日(土)…「礼法」:『七五三祝い(講義と実演)』 小笠原教場宗家 小笠原清忠

・11月13日(土)…「華道」:『正月の祝い花(講義と実演)』小笠原流常務理事 藤和彦

・12月11日(土)…「料理」:『おせち料理にみる儀礼(講義)』 近茶流宗家 柳原一成

→ 会場は院友会館を使用。儀礼文化学会の授業形式。

→ 定員 60名(儀礼文化30名、本会30名)

→ 受講料 全5回 10,000円/単 2,600円(税込)

→ 学生料金(学部学生・院生) 全5回 5,000円 / 単 1,000円(税込)

※ [収入] … 682,500円 / [支出] … 598,510円

儀礼文化学会の30周年事業。

差引残高 83,990円が本会へ入金。

※ 本会では國學院大學留学生希望者を招待。(10月から各回3名。)

* 経常会計

講演会講習会事業費支出

= 講演講習会費支出

* 経常会計

講演会講習会事業費支出

= 講演講習会費支出

* 経常会計

講演会講習会事業費支出

= 講演講習会費支出

(Ⅲ) 図書、会報等の編集、発行

■ 院友会報の発行

◆ 《院友会報》の編集発行・・・第341号から345号までを編集発行した。

【341】・・・発足120周年記念事業報告号／5月22日付け、6月上旬発送。

・ 8面／89,000部 / 1,345,680円(税込) @15.12円
発送作業、ラッピングは、342号と一緒に発送のため。

【342】・・・夏季号／ 7月 1日付、7月上旬発送。

・12面／85,100部 / 1,617,325円(税込) @19.00円
送料 4,692,236円 発送作業料 477,508円
ラッピング封筒 292,300円

【343】・・・支部活動特集号／10月 1日付、10月上旬発送。

・16面／84,700部 / 2,258,949円(税込) @25.04円
送料 4,615,431円 発送作業料 332,111円
ラッピング封筒 296,000円

【344】・・・新年号／1月1日付、12月上旬発送。

・12面／84,500部 / 1,685,775円(税込) @19.00円
送料 4,934,496円 発送作業料 491,870円
ラッピング封筒 304,979円

【345】・・・新院友歓迎号／3月20日付、3月下旬発送。

・12面／89,100部 / 1,730,767円(税込) @18.5円
送料 4,734,045円 発送作業料 482,705円
ラッピング封筒 296,000円

→ 住所の判明している全ての院友に会報を発送。

◆ 発足120周年記念事業報告号を発行し、年5回の発行となった。

◆ 「ビジネスサポート」による増収を図った。 ※ 1点 3.15円×送付数

・343号 埼玉県東支部 → 3.15円×3,260部 =10,269円

東京都二十三区支部 → 3.15円×15,297部(23区内)=45,891円

■ ホームページの運営

◆ 本会公式ホームページの充実 → <http://www.kokugakuin.or.jp>

→各支部の総会情報、120周年記念事業の情報。院友のニュースや話題の提供。母校法人傘下や学生のニュース、試合結果や速報。「院友子弟等特別選考入試」なども掲載。

→情報セキュリティについて、暗号化対応とした。

◆ 会館利用の増加促進

→卒業生・母校関係、学生、紹介企業、近隣等、貸会議室の利用促進。

《参考》 利用料金割引率 (平成10年度から実施)

支部で使用 50% OFF

学校法人、院友主体の会、学生 30% OFF

メンバーカード提示 20% OFF

◆ 母校体育連合会部会合宿などへの対応 (学生のみ都合不可)。

◎ 22年度会館事業収益	22,456,635円	前年比	3,922,237円	増
21年度会館事業収益	18,534,398円	前年比	4,039,184円	減
20年度会館事業収益	22,573,582円	前年比	5,139,380円	減
19年度会館事業収益	27,712,962円	前年比	1,894,364円	増
18年度会館事業収益	25,818,598円	前年比	5,153,977円	減
17年度会館事業収益	30,972,575円			

■ 事業収入

* 経常会計

会報等発行発送事業費支出

=通信運搬費支出

=印刷製本費支出

=会報関係費支出

↓

* 経常会計

雑収入=雑収入

↓

* 経常会計

会員統括組織化事業費支出

=賃借料支出・委託費支出

↓

* 会館事業特別会計

事業収入=会館事業収入

(Ⅳ) 院友会館の運営

(V) 院友会員の親睦、組織化と統括

■ 全国支部長会議の開催

■ 院友大会の開催

◆「神職養成講習会」への協力

→22年度「第123回」36名。「第124回」では26名の利用。研修施設として協力。

※ 第124回では、講習終盤に発生した東日本大震災の影響で、帰省できない講習生には引き続き帰省可能日まで受入れを行った。(無償)

◆ 院友会報発送やホームページからの住所変更により会員情報を更新。

→院友データの整備により、会報の戻りを出来るだけ少なくするよう努力した。

◆ 個人情報保護法などを遵守した対応を行う。

→ 会員総数 133,056名 (H23. 3. 3 現在)

(内 物故者 10,945名)

(内 住所不明 38,542名)

(内 中止者 1,371名) 夫婦・希望・母校職員など

会報発送者数 82,198名

◆ 全国各支部、地区・職域部会等へ役職員が出席。情報交換・交流を図った。

支部活動奨励金事業実施支部にも。計68会合に出席。出張関係別表。

◆《第30回全国支部長会議》

【これからの支部活動をどう考えるか】

…「一支部一事業」での各支部の成果を踏まえ、今後の支部活動につなげていくためにどのような展開を考えたらよいか、意見交換がなされた。また、21年秋に完成した渋谷キャンパスの全容を見学。

→ 日時:院友大会と同日(平成22年5月22日開催) / 13:15～15:30

会場:國學院大學渋谷キャンパス 若木タワー02会議室

→ 各支部から支部長と事務局担当者の2名を招いて開催した。

→ 63支部中、61支部から 106名が参加。

→ 21年度中に全国各支部で勇退された支部長に対し、院友大会にご招待し、感謝状(盾)を支部長会議上、贈呈した。該当者は 5名。

◆《院友大会》

日 時:平成22年 5月22日(土) 17:00 ～ 20:10

会 場:グランドプリンスホテル新高輪 飛天

会 費:10,000円 / 第118期生(新院友):3,000円

家族割引 一人プラス・・・5,000円 二人目から・・・3,000円

※ 講演会 17:00 ～ 18:00

・講師:アレックス・カー氏 (株)庵 取締役会長、東洋文化研究家)

・演題:『犬と鬼』 (一般公開)

以上、講演会・大会司会は鈴木一匡(すずき・かずまさ/118経/母校職員)氏

・320名 参加。

・講演会 : 講師謝礼 555,555円

※ 院友大会

【収入】 単位:円

・会 費 1,543,000

・賛助金 880,000

・酒肴料 240,000

・國學院大學 1,000,000 (支部長経費補助)

↓

* 経常会計

会員統括組織化事業費支出

↓ =旅費交通費支出

* 経常会計

会員統括組織化事業費支出

=会議費支出・雑支出

=旅費交通費支出

↓

* 経常会計

講演講習会事業費支出

=旅費交通費支出

=講演講習会費支出

↓

・雑収入	0
収入合計	3,663,000
【支出】	
・飲食代 他	2,916,419 (グランドプリンスホテル新高輪、他)
・大会運営費	313,161
支出合計	3,229,580
収支差額	433,420 (経常会計・基本財産寄付金収入へ繰入)

▼ 21年度に「出席ハガキ」代支出 85,050円

■ 新年院友交歓会の開催

◆ 《新年院友交歓会》

日 時:平成23年 1月22日(土) 17:00～

会 場:院友会館 地下大ホール 会 費:6,000円

参加者: 167名 参加。

・東都大学野球リーグ初優勝の硬式野球部、箱根駅伝シード権初獲得の陸上競技部から夫々監督、選手代表を招いて、開催した。

・三遊亭遊吉師匠による福引大会を実施した。

【収入】 単位:円

・会 費	718,000
・酒肴料	124,000
収入合計	895,182 (福引景品代 53,182 含む)

【支出】

・飲食代	532,770
・会合運営費	224,436
支出合計	810,388 (福引景品代 53,182 含む)

収支差額 97,853 (経常会計・基本財産へ繰入)

※福引景品代/カタログギフト 53,182 →経常会計事業費涉外費より支出

(VI) その他、必要な事業

■ 母校の支援

◆ 「院友子弟等特別選考入学試験制度」のPR。会報、H.Pなどで

◆ 國學院大學 第2回ホームカミングデー開催に伴う協力

※ 平成22年11月3日(水・祝) 渋谷キャンパスにて。

→ 院友への呼びかけ、PR、当日の手伝いなど。

→ 支部物産展開催への協力。5支部と北海道滝川市が出店。

・北海道道東支部、埼玉県北支部、石川県支部、高知県支部、鹿児島県支部、北海道滝川市。支部には物産展出店について「支部活動奨励金」として各100,000円を上限として補助。

→ 大学主催、お楽しみ抽選会への景品協賛と、院友関係企業への依頼。

■ 支部の支援

◆ 《支部運営補助金還元率》

[支部経由] 年度会費 3,000円 → 750円(25%)

十年会費 20,000円 → 2,000円(10%)

[本部経由] 年度会費 3,000円 → 500円(16%)

十年会費 20,000円 → 1,000円(5%)

◆ 上記会費以外、募金事業で院友個人の支部納入合計額の10%を、翌年度に各支部に還元。

■ 「会費」等納入促進

◆ 会報発送時に、会費納入者・未納者ごとに依頼状を同封。

* 経常会計

支部活動支援事業費支出

=補助費支出

↓

* 経常会計

支部活動支援事業費支出

=補助費支出

↓

■ 会費納入状況

※22年度会費取纏実施支部…北海道道東、道南、岩手県、宮城県、福島県会津、茨城県、埼玉県西、東京都南多摩、山梨県、新潟県、福井県、静岡県東部、静岡県中部、大阪府、奈良県、滋賀県。

※神社(22年度) … 寒川神社、鶴岡八幡宮

◎ 年度会費 …	22年度	6,133,000円	2,046件
	21年度	5,615,000円	1,873件
	20年度	5,816,000円	1,941件
	19年度	6,195,500円	2,069件
	18年度	6,670,100円	2,226件
	17年度	6,229,000円	2,076件
◎ 十年会費(一般) …	22年度	6,710,000円	336件
	21年度	6,610,000円	331件
	20年度	5,420,000円	271件
	19年度	5,560,000円	279件
	18年度	6,700,100円	335件
	17年度	6,840,000円	342件
◎ 十年会費(代理徴収) …	22年度	47,240,000円	2,362件
	21年度	46,520,000円	2,326件
	20年度	46,280,000円	2,314件
	19年度	45,420,000円	2,271件
	18年度	41,800,000円	2,095件
	17年度	47,300,000円	2,365件

■ 会館の防災・衛生など

- ◆ 防災計画などを基に、日常での防災、衛生管理に努めた。
 - 職員・アルバイトの意識高揚とミーティング、連絡を徹底した。
 - 神職養成講習会において、受講生と防災等ミーティングを実施。
 - 昨年度実施の改修工事を踏まえて、日常から館内美化に努めた。

■ 会館管理・整備・修繕

- ◆ 設備の補修・改修 ※ 竣工後24年目。
 - 自動ドアの改修。
 - 喫煙ブースの設置。 … 4階廊下突き当りを利用者の喫煙室に。
 - 物置の設置については、法的にその設置が難しいため、断念。
 - 給湯器改修工事は年度内を予定していたが、大震災の影響で23年度に。

会館内外の修繕・メンテナンス

- ◆ 本会館設計会社に委託。必要箇所の点検やメンテナンス、外観整備を日常から実施した。(平成11年度からメンテナンス業務を委託)

AEDの設置

- ◆ AED(自動体外式除細動器)を1階ロビー入口脇に設置。(20年度より)

■ その他

- ◆ ① 寄贈図書 47冊 (刊行物含む)
- ② 祝電サービス 48通

* 会館事業特別会計
事業費＝委託費支出

* 会館事業特別会計
事業費＝賃借料支出

以 上